

■米国：今夏の記録的猛暑による停電危機の回避に DR が貢献

2012 年 8 月 8 日付の業界紙によれば、今夏の記録的猛暑による停電の危機は、低迷する景気やデマンドレスポンス（DR）などグリッド技術の進展により需要が予想を下回ったため回避されたという。マサチューセッツ工科大学（MIT）電気工学教授は、夏の電力需要が電力会社の予想をかなり下回ったことで、全般的に必要な以上の供給力があるとし、停電回避の要因としては低需要であった事の方がより大きいと述べた。エネルギー管理大手の EnerNOC 社によれば、米国ではデマンドレスポンスが急速に進展しており従来の負荷遮断にかなりの部分取って代わったとし、オバマ政権の 2009 年の景気回復策の一環として実施されたスマートグリッド開発が大きく寄与しているという。